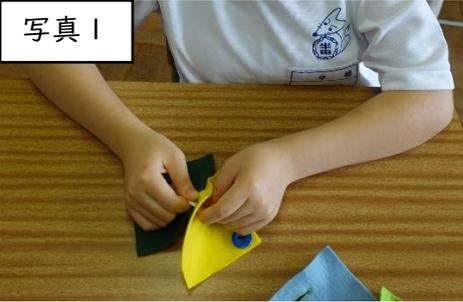


今回は、小学部の「自立活動」の授業の様子を紹介します。

活動名	「ボタンの留め外し」をしよう
子どもたちの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の所動作に時間がかかったり、上手くできなかつたりするために自信をもちにくい。 ・人差し指と親指でつまむことが難しい。 ・経験の少なさから指の動かし方が分からない。 ・困ったことがあると、教師に頼ることが多い。
ねらい	片手でボタンをつまみボタン穴に入れ、もう一方の手でボタンを引き抜くことができる。
授業の展開	<p>① 予定の確認 写真付きの予定を見て今日の目標を決める。</p> <p>② 指の運動 「グーチョキパー」の手遊びを行う。</p> <p>③ ボタンの留め外し 最初は、写真1のように教師と一緒に留め方を確認しながら取り組み、一人で写真2のように繋げていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1048 858 1350"> <p>写真1</p>  </div> <div data-bbox="922 1048 1390 1350"> <p>写真2</p>  </div> </div> <p>④ 振り返り 撮影した動画を見て自分がボタンを留めている様子を見る。 花丸を付けるなど活動の評価をする。</p>
指導のポイント	<p>【指導上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利き手でボタン、反対の手で布を持つように手を誘導する。 ・つまんでいる指がボタンからずれないように指先を軽く支えて手を誘導し一連の手の動きが分かるようにする。 <p>【教材の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手触りの良いフェルトを使用することで、心地よく触れるようにした。 ・ボタンを入れやすくするために、ボタン穴を広げやすい伸縮性の良い素材のフェルトを利用した。
授業を振り返って	自分が活動している様子を映像で見ることで、客観的に「できた」という達成感や満足感を感じることができた。加えて教師に大いに褒められたことで、自信がもててきたようになってきた。成功体験が実生活の着替えの際にシャツのボタンを留めて着ることにつながってきている。